

2020 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	アウトリーチパントリープロジェクト 退所者を含む地域母子家庭への配送食支援	
団体名	社会福祉法人ベタニヤホーム	
所在地	東京都	
事業の概要	<p>1. 当施設の退所者支援の量的拡大 退所後の生活安定に向けた相談を食品配布と合わせ、退所者のアフターケアへの忌避感を低減し社会的孤立を防止する。</p> <p>2. 地域に暮らす母子家庭、及び社会的養護施設退所者のうち単身女性への食支援 地域で暮らす母子家庭に施設を配布拠点とした食品配布を行うと共に、そこで生活上の相談を受け、母子生活支援施設の利用を積極的に促進する。</p> <p>3. 墨田区内子ども食堂及び食品配布拠点との連携 ロジスティックスの拠点として区内子ども食堂に寄贈食品の配布を行う。城東地区地域福祉協議会、墨田区社会福祉協議会、墨田区清掃事務所を通じて、子ども食堂、配布拠点への周知連携を図る。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	4,000,000 円 (直接事業費 4,000,000 管理的経費 0)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能的にはハブ拠点だが、墨田区という地域性を勘案すると申請額が大きすぎるということはない。</li> <li>東地協や子どもの居場所づくり団体との連携が望まれる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

2020年度「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	食を通じた地域の支え合いの仕組みづくり	
団体名	特定非営利活動法人 フードバンク香川	
所在地	香川県	
事業の概要	<p>社会福祉施設や社会福祉協議会に冷凍冷蔵庫を設置し、フードバンク拠点を増やすことで、企業や住民が気軽に寄付できる身近なフードバンク活動を促進する。また、運送会社やタクシー会社の地域貢献の取組みと連携し、食糧を速やかに県内各所へ配送するルートを確保する。</p> <p>また、社会福祉協議会や母子生活支援施設、ひとり親支援団体等へ食糧提供を行い、支援のツールとして活用していただくことを通じて、社会的孤立や経済的困窮によるしずらさを抱える人・世帯の早期発見や生活再建に向けた支援に取り組む。</p> <p>県社会福祉協議会（当団体事務局）と連携し、住民や社会福祉法人施設、企業等にフードバンク活動の広報啓発に取り組む。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	4,000,000円 (直接事業費 3,208,000 管理的経費 792,000)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の活動団体と連携しながら、事業内容整理と具体的な機能分化が望まれる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

2021 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	つないで支える地域の輪、こども食堂の輪	
団体名	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブういず	
所在地	千葉県	
事業の概要	こども食堂等の居場所事業を行う団体や施設とのネットワークの形成。 こども食堂等の居場所事業を行う団体や施設への食材の配布や保管管理。 こども食堂等の居場所事業を行う団体や施設のコロナ禍でのお困りごと や課題を拾う。	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	3,997,000 円 (直接事業費 3,997,000 管理的経費 0)
審査コメント	・ 組合員以外の機関や団体との連携視野に入れて、支援の充実を図られたい。	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

2020年度「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	こどもの未来を守るプロジェクト CMMP	
団体名	社会福祉法人大幸会	
所在地	福岡県	
事業の概要	<p>母子生活支援施設の機能を活用したアウトリーチ事業：施設内での母子への子ども食堂を実施の際、地域の母子が参加出来る働きかけることにより、地域で孤立しがちなひとり親家庭や子育て世帯が地域とつながる交流拠点の役割を担う。また、施設の専門性を活かしたソーシャルワーク機能を地域に還元することで貧困の課題を抱える親子を公的支援につなぎ深刻化を防ぐ。地域社会福祉協議会と連携して子ども食堂や居場所づくりへの食の提供やスタッフの派遣をして支援を通じて新規の立ち上げはもちろん事業が継続するように支援をしていく。</p> <p>県内のハブ拠点になり、必要な時期に必要な団体に届けられるように事業をHPや各実行団体に発信していく。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	3,985,000円 (直接事業費 3,985,000 管理的経費 0)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県内の他団体との連携を図ると共に、他県の母子生活支援施設のモデルとして活動の広報・普及に期待される。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

2020 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	フードくじら	
団体名	学習支援ひろば「くじら寺子屋」	
所在地	沖縄県	
事業の概要	<p>コロナの影響で困窮している家庭、ひとり親家庭、多子家庭の方たちに食料品を受け渡す。</p> <p>沖縄県ランチサポートとオリオンベーカリーの協力により毎週月曜日と金曜日は個包装のパンの配布ならびに寄贈された食料品の配布。小中学校の給食が無い登校日に無料のお弁当配布。夏休み中の無料のお弁当配布を行う。</p> <p>昨年度実施した結果、食糧受取希望者と無料のお弁当受取希望者が異なるニーズを持っている場合がある。特に無料のお弁当希望の家庭の中には、日常的に食事の回数が少ないことがあり児童にとって必要である。対して、食糧の受け取り希望の家庭は経済的困窮が見られる。よってどちらの活動も必要である。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	2,942,000 円 (直接事業費 2,561,800 管理的経費 380,200)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄県のランチサポート事業との連携や、子どもの居場所づくり支援の充実に向けて沖縄市内の支援ネットワークを構築してほしい。</li> <li>・ デリバリー体制の構築やハブ拠点の整備について、資金分配団体、市社協、那覇のサポートセンターと連携して進めてほしい。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

2020 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	ロジネットデザイン横浜	
団体名	ココロにたねまき	
所在地	神奈川県	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食料品を冷凍・冷蔵・常温にて適切に一時保管し、在庫を管理するパントリー事業</li> <li>・ フードバンク→パントリー→各支援団体へ支援物品の運搬事業</li> </ul> <p>後方支援事業として、受け入れた食料品を冷凍・冷蔵・常温にて適切に一時保管し、在庫を管理するパントリーを持ち、社会福祉協議会や食支援団体などが所有する、子供を支援する団体等へ連絡を取り合う為のメールリストに、提供可能な食料品、日用品の情報を掲載頂き、多くの子供を支援する団体と繋がり、食料品、日用品をお届けする仕組みを構築し、ソーシャルセーフティネットの維持に寄与する活動を行います。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	1,775,000 円 (直接事業費 1,510,510 管理的経費 264,490)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い担い手による活動の将来性に期待ができる。今後、母子生活支援施設や他機関との連携については、よく学び、産後の母親や育児に関するニーズ把握を充分に行った上で、良い伴走支援ができるように活動を推進してほしい。</li> <li>・ 広域団体との連携も進めて神奈川県の面となる活動に寄与していただくことが望まれる。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

2020 年度 「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
 持続可能な地域援助モデル構築事業 採択事業

事業名	子ども虹の架け橋プロジェクト	
団体名	社会福祉法人大洋社	
所在地	東京都大田区	
事業の概要	<p>大田区は、人口約 74 万人で子育て世帯におけるひとり親の割合が約 7.5%であるが、母子生活支援施設の入所者は 40 世帯であり、ほとんどのひとり親世帯が地域の中で施設利用者と同じような貧困や孤立といった課題を抱えて地域で生活している。大田区地域に根差して活動してきた強みを持つ当団体は、「母子生活支援施設の機能を活用したアウトリーチ事業」「地域のこども食堂、様々な法人や一般企業との連携及び支援事業」「地域の社会福祉協議会との連携の枠組みづくり」を通してひとり親家庭の抱える課題に働きかける。食材補完・配布の実施は、BCP を活用し定期的見直しを行いながら安全により多くの対象者に支援を届けていく。</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	3,700,000 円 (直接事業費 2,994,000 管理経費 706,000)
審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源と繋がりにくい退所家庭の母子世帯を中心とする孤立世帯へのリーチアウトへの課題意識が高く、退所家族への生活支援の実績をもとにアプローチできる点で評価できる。</li> <li>・ 大田区全体の地域資源づくりとして、社協やこども食堂等子どもの居場所団体とのネットワークを構築していかれることが期待される。</li> </ul>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております